

国家権力犯罪に

「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件」

“時効”はない

国家権力犯罪犠牲者を追悼し、
二度と引き起こさせない決意を込めて。

目次

表紙デザイン・杉全 泰

巻頭メッセージ

荻野富士夫（小樽商科大学名誉教授）

植村 隆（『週刊金曜日』発行人・韓国カトリック大学客員教授）

はじめに 4

- 1、国家権力犯罪を糺し、新たな運動を巻き起こす一助に 6
- 2、北大「スパイ冤罪事件」の被害者 9
- 3、国家に捏造された罪と罰 11
- 4、冤罪の加害者は国家権力 14
- 5、フォスコ・マライーニの果たした役割 17
- 6、北海道大学の戦前と戦後 19
- 7、正確に伝えたい事項 21
- 8、記憶し、記録し、伝えるべき「冤罪の惨跡」 22
- 9、「戦争への道」を許してはならない 39
- 10、国家権力犯罪に「時効」はない 54

あとがき 64

参考文献 66